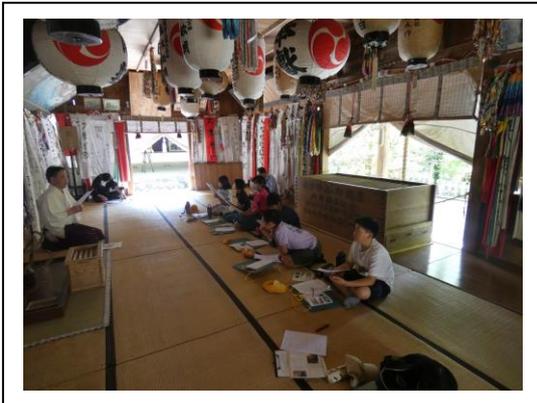


知ってる人はいませんか？「大津神社の歴史」を



5・6年生は、今年、総合学習で「余野の歴史」について調べています。先日は大津神社で宮司さんに神社の歴史について話を伺いました。

大津神社は、正平四年霜月八日（西暦1350年12月8日）に、信州戸隠神社より分霊され奉られたと伝えられており、現在の本殿は、江戸時代前期末の元禄十一年（西暦1698年）に建立されたと言われている。とにかく「伝えられ」たり「言われ」たりしており、その歴史は口承により子孫へと引き継がれ、詳しい文献は残っていないようなのである。

学校に帰ってから、早速聞いてきたことをまとめ仲間と共有し合った5・6年生であるが、「大津神社という名前の由来」や「どうしてわざわざ遠い長野県から分霊してきたのか」など、**分からないことがいっぱい**で歴史のロマンを感じ

たりもするのです。**どなたか知っている人はいませんか？**

5月25日には、霜月祭の神事に使うもち米の「田植え」にも全校児童が参加

します。